

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成26年3月3日

協議会名: 新城市地域公共交通会議

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況 ①利用者数 ②利用者の満足度(満足度は、0.8~1.2の間で1.2に近いほど満足度が高いことを示す。) ③収支率	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
豊鉄タクシー株式会社 西部線	川田原公民館～新城東高校		A 公共交通空白地域であった地域に走る本路線は、利用者の多くが高齢者であり、市中心部への通院と買物等に出かけるための重要な路線となっている。事業は、計画どおり実施できた。	A ①利用者数:4,050人を目標値とし、実績は4,161人である。(2.7%) ②利用者の満足度:1.10 ③収支率:目標値は12.25%であったが実績は17.56%と目標値を上回った。	この路線の利用者は、主に高齢者であり、高齢者が通院、買い物に出かけるための重要な路線となっている。今後は、利用者の増加を目指し、市民から要望のある地区への乗り入れ等の検討について、「西部線を守り育てる会」において検討を進めていく。西部線利用パターン等を市民に示すことにより市民が利用しやすい路線を目指したい。車両を更新した。
新城市 塩瀬線	上島田～大海駅	平成25年4月1日から、接続する布里田峯線と相互に乗り継いだ場合は乗継券を発行し、1乗車として運賃算定をする。これにより乗り継ぎの都度発生していた運賃負担を軽減して利用者の利便性の向上を図った。	A 災害により運行できない期間があったが、事業は概ね適切に実施された。小中学生の毎日の通学の足として、また高齢者の通院や買物の足として適切に運行ができた。また、他の路線との接続を考慮し、市中心部への利便性を確保することができた。	B ①利用者数:5,019人を目標値とし、実績は5,287人である。(0.05%) ②利用者の満足度:1.14 ③収支率:目標値は18.08%であったが実績は10.00%と△55.3%であった。	引き続き『布里田峯線を守り育てる会』(塩瀬線と布里田峯線の地域支援組織)を開催し、沿線住民が利用しやすい路線を目指す。一方で鳳来西小学校と鳳来中学校の児童生徒の利用が重要な役割であり、通学利便確保に十分配慮していく。車両を更新した。
新城市 つくであしがる線	診療所～診療所(曜日ごとに路線が異なる循環運行)	「つくでバスかわら版」を発行し、利用者の声や曜日ごとのルートで行けるスポットを時刻表を掲載し、利用促進を図った。	A 災害により運行できない期間があったが、事業は概ね適切に実施された。各集落の生活を維持するために欠かせない路線であり、地域の生活を支えるためにきちんと運行をすることができた。	B ①利用者数:1,627人を目標値とし、実績は1,620人である。(△0.04%) ②利用者の満足度:1.15 ③収支率:目標値は4.85%であったが実績は3.91%である。	この路線の主な利用者は通院・買物を目的とした高齢者である。各集落の中心を週に1度以上通る路線で、フリー乗降ということもあり、高齢者から「家の前で乗れるので都合がいい」との声が多い。どの集落も高齢者の人数は増えていて、このバスがなくなるとは生活できないという声は多いが利用者数は減少している。高齢のため運転はやめるという方等にPRを続け、新たな利用者を増やすことが今後の課題である。今後は、自家用車を利用している高齢者も利用しようと思えるような路線としていく。
新城市 中宇利線	新城東高校～小畑		A 計画どおり事業は適切に実施された。	①利用者数:40,219人を目標値とし、実績は49,554人である。 ②利用者の満足度:1.13	小学生の輸送を主な目的としており、一般の利用者数が少ないため、通学時間帯以外におけるバス利用の促進方を検討し、通院・買物に便利な路線としていく。
新城市 吉川市川線	新城市民病院～吉川		A 計画どおり事業は適切に実施された。	①利用者数:8,536人を目標値とし、実績は10,108人である。(18%) ②利用者の満足度:1.17	小学生輸送を主な目的としており、一般の利用者数が少ないため、通学時間帯以外におけるバス利用の促進方を検討し、通院・買物に便利な路線としていく。
豊鉄タクシー株式会社 北部線	緑が丘～新城郵便局		A 計画どおり事業は適切に実施された。	①利用者数:9,721人を目標値とし、実績は9,280人である。(△0.04%) ②利用者の満足度:1.07	小学生輸送を主な目的としており、一般の利用者数が少ないため、通学時間帯以外におけるバス利用の促進方を検討し、通院・買物に便利な路線としていく。また、塩瀬線との乗継を考慮し鳳来地区からの利用にも対応した路線とする。

新城市 秋葉七滝線	本長篠～向久保	『秋葉七滝線を守り育てる会』を設置。利用促進のためにH25.4.1からバス停を2箇所新設した。	A	災害により運行できない日があったが、事業は概ね適切に実施された。	①利用者数:16,015人を目標値とし、実績は13,161人である。(△17.8%) ②利用者の満足度:1.13	利用者は東陽小学校と鳳来中学校の児童生徒の他、通院・買物・通勤を目的とした一般利用者もいる。そこで沿線住民の意見を聞く場が必要と考え、平成24年度に『秋葉七滝線を守り育てる会』を立ち上げたところバス停新設の要望があったため、平成25年4月1日にバス停を2箇所新設することとなった。今後も通学利用との兼ね合いを考えながら、実現可能な範囲で住民と共に考えていきたい。
新城市 布里田峯線	玖老勢～田峯	平成25年4月1日から、接続する塩瀬線と相互に乗り継いだ場合は乗継券を発行し1乗車として運賃を算定。これにより乗り継ぎの都度発生していた運賃負担を軽減して利用者の利便性の向上を図った。同日から(新)田峯バス停を新設し、豊鉄バス田口新城線との乗り継ぎの不便を解消した。併せて乗継利用案内を区長を通じ、各地区へ配付	A	災害により運行できない日があったが、事業は概ね適切に実施された。	①利用者数:6,147人を目標値とし、実績は4,468人である。(△27.3%) ②利用者の満足度:1.03	この路線の主な利用者は鳳来西小学校と鳳来中学校の児童生徒で、運行も通学を考慮したものとなっている。また、鳳来西小学校スクールバスとしての役割も担っており、児童生徒を最優先に考えなければならないが、沿線住民の意見を聞く場として『布里田峰線を守り育てる会』を引き続き開催し、一般利用者の要望把握にも努めたい。
新城市 長篠山吉田線	本長篠～郷ヶ平～田沢	守り育てる会について検討中	A	計画どおり事業は適切に実施された。	①利用者数:23,500人を目標値とし、実績は16,767人である。(△28.6%) ②利用者の満足度:1.06	主な利用者は鳳来中部小学校、鳳来中学校の児童生徒の他、通院・買物・通勤を目的とした一般利用者もいる。利用者の多くは新城方面を目的地としているが、竹平バス停から遠鉄バス洪川線を利用すれば浜松市中心部との往復が可能なため、浜松市への『玄関口』としての一面もPRしていき、引き続き遠鉄バスとの接続に配慮したい。 また、経路設定時から道路の状況が変更しているため、再度見直しを行い実状に合った経路を模索したい。
新城市 本長篠海老線	本長篠～海老		A	計画どおり事業は適切に実施された。	①利用者数:実績値6,565人 ②利用者の満足度:0.98	鳳来中学校、鳳来寺小学校の生徒児童の通学の足として登校日のみの運行を行っている。満足度調査における不満な要素の解消に努めていく。
新城市 作手線	新城富永～作手高里		A	計画どおり事業は適切に実施された。	①利用者数:25,268人を目標値とし、実績は40,423人である。(59.9%) ②利用者の満足度:1.00	作手地区と新城地区を結ぶ重要な路線であり、平成22年10月からはそれまでの距離制の運賃制度からゾーン制に切り替え、増便も行い、利便性を高めた。主に高校生の通学や高齢者の通院・買物に利用されている。アンケート調査の結果なども参考にしながら、引き続き満足度の高い路線となるよう努めていく。
新城市 守義線	鳴沢橋～診療所前		A	計画どおり事業は適切に実施された。	①利用者数:6,591人を目標値とし、実績は4,190人である。(△36.4%) ②利用者の満足度:1.18	主な利用者は作手中学校の生徒の他、通院・買物を目的とした一般利用者もいる。一般利用者の多くは高里地区にある診療所と高里地区での買物を目的地としているが、高里バス停から作手線に乗り換え新城地区へ行かれる利用者もある。作手中学校の生徒数減少により利用者数は年々減っているが、乗降しやすいバスへ変更したため、高齢者へのPRにより出かけることが楽しいと思えるバスを目指していきたい。車両を更新した。